Sunbrella
magazine

冬号

2026JAN

Vol.11

サンブレラ

コミュニケーションマガジン

SUNBRELLA MAGAZINE 01

『2025年を越えて -介護の“これから”を静かに進めていく-』

(株)サンブレラ 代表取締役 **日笠 伸之**

少し前まで大きく取り上げられ、注目されていた「2025年問題」。
団塊世代が75歳以上の後期高齢者となり、日本の医療と介護の体制が大きな節目を迎えると言われてきました。そして今、私たちはその“節目を越えた時代”の真っただ中にいます。
2025年に何か劇的な変化が起きたわけではありません。しかし、支援を必要とする高齢者が確実に増え、地域で支える力の重要性が一段と高まっているという現実を、現場では日々強く感じています。
人手不足という課題は続きます。その中でもICTの活用や業務改善を進めながら、「人が人を支える温かさ」「人間が持つ温もり」は決して失わないこと。医療・看護・介護等の多職種が手を取り合い、暮らしの場で安心を届けること。そして、国籍や背景の違いを越えて集うスタッフ一人ひとりの力を結集していくこと。チームワークと集合知により、安心と安全をお届けする。それが今の時代に求められる、私たちの役割だと考えます。
サンブレラは昨年迎えた10周年の節目を機に、単なるハードとしての“施設”ではなく“その人の人生の続きにある場所”でありたいという想いをさらに強く持つようになりました。2026年には岡山市内にも新しくナーシングホームを開業します。事業の拡大は、会社の利益の追求といった考え方だけではなく、広く地域の皆様に安心をお届けする基盤を固めていくことだと捉え、スタッフ一同、誠実にその職責を果たしていきたいと思います。
利用者様とそのご家族、利害関係者の皆様、そして日々最前線で努力するスタッフへの感謝を胸に、2026年も先の時代に向け、一歩ずつ確実に歩んでまいります。

お知らせ

●新規事業所

倉敷市水江に続き、2026年秋頃に岡山市内にもナーシングホームを開業する予定です。岡山県南部を中心に、高齢社会を支える会社として介護事業の拡大で貢献していきたいと考えています。

●外国人スタッフ紹介

新たに加わった3名の外国人スタッフを質問形式でご紹介します。

【質問】①日本の好きなところ ②日本で行ってみたい場所 ③好きな食べ物 ④休日の過ごし方 ⑤介護の仕事をしてみて感じたこと

パラソル 操南
ミフタフル フダ
(インドネシア)

①日本には四季があり、季節によって景色が違うところが好きです。食べ物も美味しいです。
②山梨です。富士山の写真を撮りたいです。
③ラーメンと蕎麦です。
④日本語の勉強をしたり、自然を感じるために公園に行くこともあります。
⑤介護の仕事は楽しいです。日常生活のお手伝い以外にも、利用者様とお喋りをしている時間も好きです。

パラソル 倉敷中庄
メリンダ スーチ ラマダニ
(インドネシア)

①日本の文化が好きです。また、四季それぞれの景色も大好きです。
②北海道は自然がとても綺麗だと聞いたので行ってみたいです。
③寿司やうどんが大好きです。他にも色々な日本食も食べてみたいです。
④料理や日本語の勉強をしていることが多いですが、友だちとジョギングをしたり、外食をしたりしています。
⑤利用者様と接することで、色々なことを学べます。大変なこともありますが、人の役に立てるので、とてもやりがいを感じています。

デイサービス 花音
サヴナ イノラ スカエシ サガラ
(インドネシア)

①日本の自然はとても綺麗なので好きです。日本食も好きです。
②白川郷に行きたいです。写真を撮ったり、スキーをしたいです。
③ラーメンと寿司が大好きです。えびめしも食べてみたいです。
④ショッピングや外食を楽しんでいます。また日本語の勉強もしています。
⑤介護の仕事は大変なこともありますが、利用者様の笑顔を見ることができるので、とてもやりがいがあり、楽しんで仕事をしています。

岡山県の高齢化と当社の取り組み

岡山県の高齢者数と高齢化率

岡山県の高齢化率は全国平均よりもやや高く、今後も上昇が見込まれるとされています。また、日本の総人口は長期的に減少し続け、65歳以上人口のピークは厚生労働省・内閣府の推計では、2042年に約3878万人（一部研究資料では、3935万人）と予測されています。人口減少が加速する中、2065年には高齢化率が38.4%（国立社会保障・人口問題研究所の推計値）に達すると見込まれています。

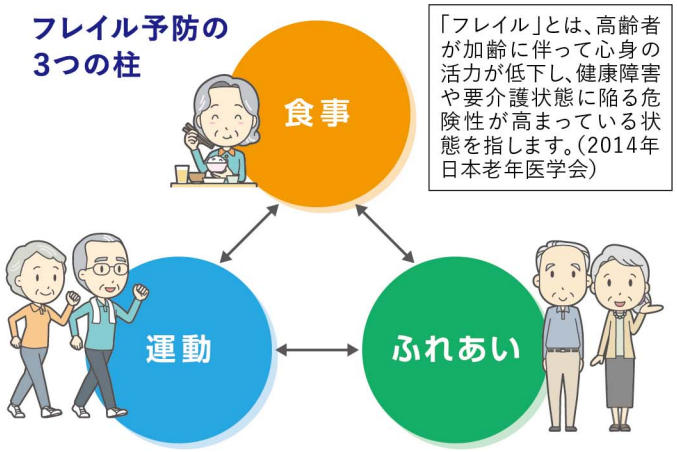
地域	総人口（推計）	65歳以上人口	高齢化率（65歳以上割合）
全国	1億2379万人	3624万	29.3%
岡山	183万621人	55万3542	31.4%

※2024年10月の総務省人口推計および岡山県毎月流動人口調査（令和6年10月1日現在）による調査結果を参考にしています。そのため、2026年1月現在の数値との差異が多少あることはご了承ください。

●フレイル予防を意識した当社の取り組み

高齢化率が上昇する中、少しでも健康寿命を延ばし、イキイキと過ごすために大切なのが、フレイル予防です。フレイル予防で大切なのは、「食事」「運動」「ふれあい（社会参加）」です。

◇バランスのよい『食事』で体を作る
◇無理のない『運動』で筋力を保つ
◇人との『ふれあい』により心の健康を育む



食事

◆管理栄養士による手作り献立

現在デイサービスとグループホームで月に1回程度、当社の管理栄養士が事業所を巡回し、季節感を大切にしたお食事を手作りしています。彩りや食感など五感で味わう食事の提供に努め、利用者様から『季節を感じられる』と好評です。

夏（納涼祭：屋台風）

秋（秋の味覚）

◆食材のこだわり

利用者様へ安心して召し上がっていただくために、食材にも気を配っています。例えば、土用の丑の日のうなぎは国産のものを選び、手作りおやつは、なるべく無添加の材料を使うよう心掛けています。かき氷シロップもフルーツを使った手作りのものを提供しております。

土用の丑の日（うなぎ）

かき氷

◆育てて味わう

グループホームでは、苗の購入から利用者様が行っています。野菜や果物を無農薬で育て、収穫し、食すことを楽しまれています。

買い出し

スイカの収穫

運動

◆有資格専門職による機能訓練

当社のデイサービスでは機能訓練指導員が、利用者様それぞれの身体の状態やご希望に合わせて、機能回復・維持のための訓練プログラムを実施しています。同じ利用者様でも日によって体調やご様子は変化するため、表情や動きなどを丁寧に観察しながら、無理なく取り組んでいただけるよう工夫を重ね

ています。そして単なる訓練にとどまらず、マンツーマンで関わる貴重な時間の中では、安心して会話ができるよう、温かく落ち着いた雰囲気づくりにも努めています。体調や日々のちょっとした心配ごとを話してくださったり、「身体の動きがよくなって、デイサービスが楽しみになった」といった嬉しいお声をいただくこともあります。こうしたコミュニケーションは、私たちにとっても大きな励みです。
また、気になることがあればすぐに当社の看護師と連携し、必要に応じてご家族の方へ相談させていただくことも可能です。実際に、脳梗塞の兆候にいち早く気付き、早期発見に繋がったケースもありました。
機能訓練指導員による個別訓練の他にも、外部講師によりエクササイズや、洗濯物を畳む・食器を洗う・食事の配膳といった生活動作も、無理のない範囲で取り組んでいただいています。

エクササイズ

配膳の手伝い

ふれあい

◆リフレッシュドライブ

気候のよい季節には、車で出かけることもあり、車内では景色やお喋りを楽しまれています。外出することで季節や地域の変化も感じられているようです。

お花見

牧場

◆地域の方との交流

地域の公民館活動やお祭りへの外出、事業所にお招きして交流することもあります。ボランティアの方による演奏会やモノづくり指導。地元消防局による避難訓練など多岐に渡ります。

夏まつり

藤の花サロン

◆職場体験受け入れ

日頃あまり接する機会のない世代との交流は利用者様にとって良い刺激に繋がります。そのため、当社では積極的に職場体験の受け入れを行っています。生徒の方には、食事の配膳やレクリエーションのお手伝い、利用者様と将棋をしたりフルート演奏の披露などを行っていただきました。

職場体験

●訪問介護サービスのさらなる充実

～多様なスタッフが協力して～

この度、新たに当社の3名の外国人スタッフが介護実務者研修を修了し、既に活躍している介護福祉士2名とともに合計5名の外国人スタッフが訪問介護サービスに従事できるようになりました。当社では、デイサービスやグループホームを中心に、日本人スタッフと外国人スタッフが協力しながら異文化理解を楽しんでいただけるレクリエーションなどの取り組みも続けており、皆様から好評をいただいております。文化や経験の異なるスタッフが加わることで、寄り添う視点が一層広がり、安心で温かいサービスをお届けできるよう努めてまいります。

利用者様に寄り添う外国人スタッフ

●介護現場のDX化

介護の現場は、人と人との温かな関わりで成り立っています。その一方で、日々のサービスをより安心で円滑に届けるためには、ICTの活用やDX化への取り組みも欠かせません。当社では全事業所で、業務記録や情報共有を円滑に行えるシステムとスタッフ同士が即時に連絡を取り合えるインカムの活用で即時対応と効率化を実現しています。
一方で、新しいツールの導入にはご家族様の利用環境やスタッフの経験・言語の違いなど、それぞれの事情を踏まえる必要があります。例えば、事業所内だけでなく外部とも連携できるコミュニケーションツールの導入について、その利便性を評価しつつも、誰もが安心してスムーズに使えるかなど慎重に検討しているところです。
今後は、WEB会議を活用して事業所やサービスを横断した委員会を設置し、現場の声を集めながら段階的に導入を進めていく予定です。DX化は単に効率を求めるだけでなく、安心と安全を守るために必要な取り組みとして位置付け、介護の質を高めるよう推進してまいります。

（例）
- 記録システムによる業務管理
- 見守りセンサーによる夜間常時見守り
- 見守りロボットによるコミュニケーション
- プラットフォームによるサービス連携・データ一元化

日々のご様子

6月

7月

8月

9月

10月

【6月】

グループホームの敷地内で育ったビワが今年も豊作でした。利用者様が協力して袋がけを行うなど、手塩にかけて育てた美味しいビワです。また、季節の作品作りでは、「紫陽花」の飾りを作られました。昼食のちらし寿司も色鮮やかに紫陽花をイメージしました。

【7月】

短冊に願い事を書いて笹飾りを作りました。家族の健康を願うものや「皿うどんが食べたい」など素直なお気持ちまで様々。また、土用の丑の日にはうなぎを堪能されました。美味しいうなぎに思わずとびきりの笑顔でカメラに向かって丸サイン！

【8月】

納涼祭では法被を着て鉢巻を巻いて、金魚すくいゲームや射的、盆踊りなど大盛り上がりでした。また、台湾の経営者団体の方々が視察に来られ、万博にちなみ「世界の国からこんにちは」を一緒に歌って和やかな国際交流ができました。

【9月】

敬老会では、事業所内に紅白の幕を張り、節目を迎えられた利用者様へ表彰状を贈呈。その後は皆様の大好きなビンゴゲームで盛り上がりました。また、地域ボランティアの方の指導で、箸づくりを行った事業所もありました。

【10月】

選手宣誓から始まった運動会。玉入れやボウリングなど紅白に分かれて様々な競技をされました。MVPの方にはトロフィー、上位入賞の方にはメダルの授与など、なかなか本格的。元気いっぱいの運動会でスポーツの秋を満喫されました。

●おやつ作り

毎月、利用者様と一緒におやつを手作りする日を設けています。生地を混ぜたり、焼いたり、仕上げのデコレーションをする中で自然に会話も弾み、手作りならではのできたての美味しさを楽しまれています。

●音楽療法

デイサービスでは、音楽療法士が曲に合わせた衣装や小道具も使って、毎月趣向を凝らした活動を行っています。時には二胡や和太鼓奏者の方が来所されることもあり、普段触れることの少ない楽器まで、広く音楽を堪能されています。

サンブレラ事業所一覧

□番町事業所		
サービス付き高齢者向け住宅 サンブレラ 番町 街なかデイサービス 和音	岡山県岡山市北区番町1-10-4	TEL 086-237-1113
□御津事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 御津	岡山県岡山市北区御津高津1787-1	TEL 086-724-1223
□吉備中山事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 吉備中山	岡山県岡山市北区西辛川323-15	TEL 086-284-8585
□白石事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 白石 デイサービス 花音	岡山県岡山市北区白石546-1	TEL 086-250-6656
□青江事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 青江	岡山県岡山市北区青江1-6-10	TEL 086-237-8600
□原尾島事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 原尾島 ケアプランセンター クローバー	岡山県岡山市中区原尾島3-6-8	TEL 086-273-0077
□倉富事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉富	岡山県岡山市中区倉富501-1	TEL 086-277-0330
□倉敷酒津事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉敷酒津 A館 住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉敷酒津 B館 住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉敷酒津 新館	岡山県倉敷市酒津2747-1 岡山県倉敷市酒津2722-1 岡山県倉敷市酒津2723-8	TEL 086-421-8116
□倉敷中洲事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉敷中洲 A館 住宅型有料老人ホーム サンブレラ 倉敷中洲 B館	岡山県倉敷市安江547-2	TEL 086-430-4466
□総社事業所		
住宅型有料老人ホーム サンブレラ 総社	岡山県総社市駅南1-2-18	TEL 0866-90-0330
□倉敷水江事業所		
ナーシングホーム サンブレラ 倉敷水江	岡山県倉敷市水江1195-2	TEL 086-454-4777
□操南事業所		
グループホーム パラソル 操南	岡山県岡山市中区藤崎136-26	TEL 086-230-0501
□倉敷中庄事業所		
グループホーム パラソル 倉敷中庄	岡山県倉敷市中庄2371-1	TEL 086-441-8077
□野田事務所		
ヘルパーステーション ハンズケア 訪問看護ステーション ソレイユ	岡山県岡山市北区野田3-1-18	TEL 086-250-3551

表紙デザインについて

この広報誌の表紙には、障がい者アート作品を使用しています。障がい者アートの純粋で無垢な魅力を活かしながら、福祉作業所で働く方々の収入ややりがいや働きがいの向上を目指すといった団体の活動に賛同し、採用を決めました。当社も社会の一員として、サステナブルな社会の実現を微力ながら参加したいと考えています。尚、同団体は、IAUD国際デザイン賞2020を受賞しました。ますますの活躍と発展を祈念いたします。

※国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）は、「ユニヴァーサルデザインの更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」を基本理念として活動する団体。IAUD国際デザイン賞2020は、世界14か国からエントリー。

編集後記

今回はフレイル予防の取り組みを紹介した。体を作る「食」へのこだわり、残存機能を活用する日々のトレーニング、外部の方々との交流機会の創出など、随所に工夫があり、利用者の方々にとってはいつの間にか自然とフレイル予防ができていた、というところだろうか。「やらされ感」は人のモチベーションを下げる大きな要素。それがなく、楽しみながら取り組めるというのは、これ以上ないケアだと感じた。また、本紙では外国人スタッフについてよく取り上げているが、当然、日本人スタッフがしっかりと基盤を支えていることも申し添えておきたい。

【広報誌Vol.11　2026年1月発行】　株式会社サンブレラ　岡山県倉敷市酒津2747-1　電話086-476-2833